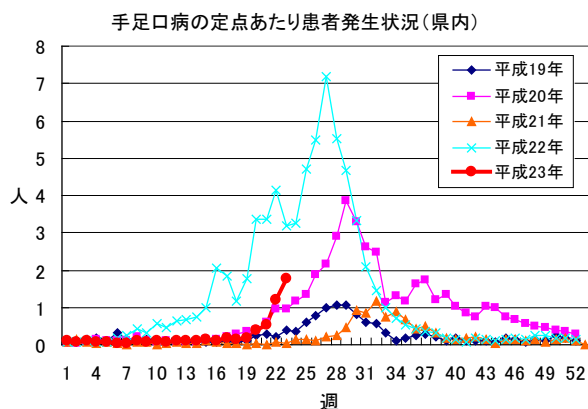


全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症(指定された医療機関から報告を求める感染症です)

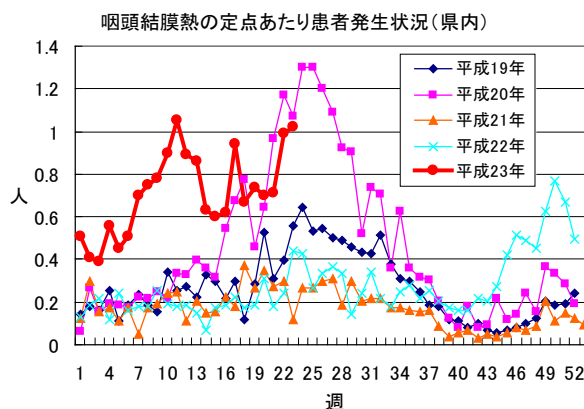
手足口病

定点あたり患者数は今週 **1.78人**(先週は1.20人)と増加しました。代表的な夏型感染症であり、今後の動向に注意が必要です。感染経路は飛沫感染、接触感染、糞口感染などです。保育園や幼稚園などの乳幼児施設における感染予防では手洗いの励行と排泄物の適正処理が基本となります。



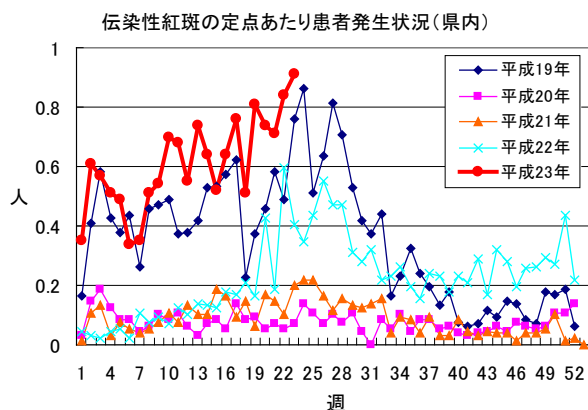
咽頭結膜熱

定点あたり患者数は今週 **1.02人**(先週は0.99人)と増加しました。例年に比べて患者数が多い傾向がみられます。病原体はアデノウイルスで、50種類以上の血清型が知られています。感染経路は通常は患者からの飛沫感染ですが、プールを介して流行することもあります。



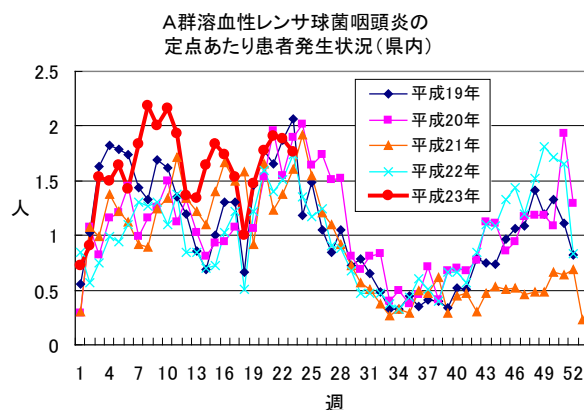
伝染性紅斑

定点あたり患者数は今週 **0.91人**(先週は0.84人)と増加しました。例年に比べて患者数が多い傾向がみられます。幼児、学童が好発年齢ですが、妊婦が感染すると流産・死産などの原因となることもあります。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点あたり患者数は今週 **1.76人**(先週は1.88人)と減少しました。幼児、学童・生徒を中心に学校、家庭などの集団での発生が多く、集団内での保菌者への対策が必要です。



定点あたり患者数の上位10位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1位	感染性胃腸炎	5.30	5.53	-0.23	6位	咽頭結膜熱	1.02	0.99	+0.03
2位	水痘	1.93	1.52	+0.41	7位	流行性角結膜炎	0.94	0.51	+0.43
3位	手足口病	1.78	1.20	+0.58	8位	伝染性紅斑	0.91	0.84	+0.07
4位	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	1.76	1.88	-0.12	9位	突発性発しん	0.57	0.47	+0.10
5位	流行性耳下腺炎	1.27	1.33	-0.06	10位	ヘルパンギーナ	0.56	0.28	+0.28

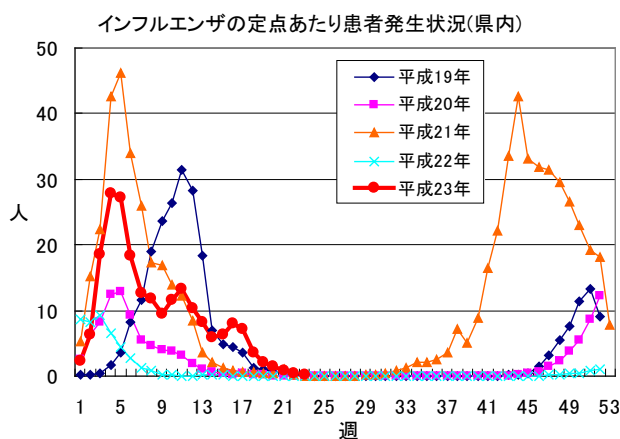
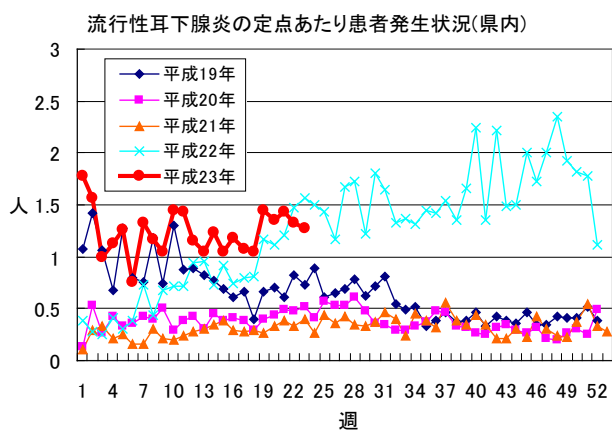
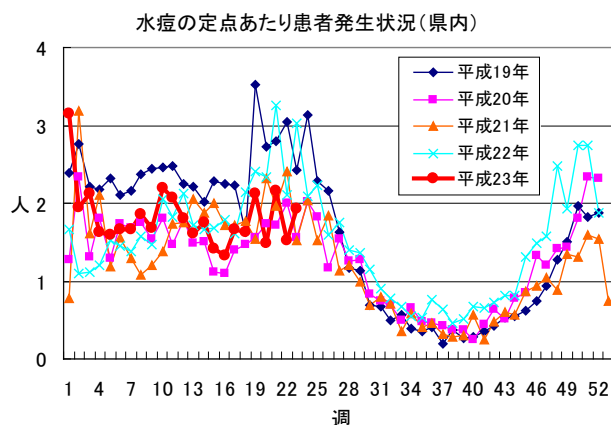
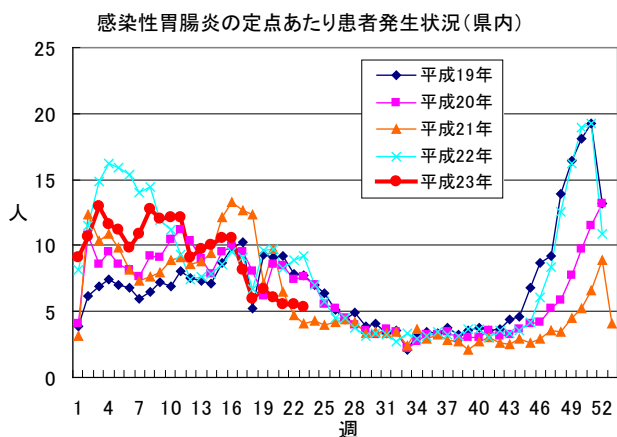
全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 52名 （神戸市 25名、尼崎市 10名、姫路市 5名、西宮市 1名、伊丹保健所管内 2名、宝塚保健所管内 1名、明石保健所管内 1名、加古川保健所管内 3名、加東保健所管内 1名、朝来保健所管内 1名、洲本保健所管内 2名）
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症 4名 （有症者 3名、うち HUS 0名） （神戸市；O26 VT1+ 男性 2名（いずれも 1歳）女性 1名（4歳）、加古川保健所管内；O26 VT1+ 女性 4歳）（累積報告数 24名；有症者 19名、うち HUS 1名）
4類感染症	報告はありません。
5類感染症	ウイルス性肝炎 2名 （神戸市；B型 女性 20歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；異性間性的接触、加古川保健所管内；B型 男性 30歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；異性間性的接触）、 梅毒 1名 （宝塚保健所管内；早期顕症梅毒（Ⅱ期） 男性 40歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；性的接触）、 風しん 1名 （伊丹保健所管内；検査診断例 男性 20歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明、ワクチン接種歴；不明）、 麻しん 2名 （神戸市；修飾麻しん（検査診断例） 女性 30歳代 感染地域；国内、感染経路；不明、ワクチン接種歴；不明、明石保健所管内；麻しん（検査診断例） 男性 10歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明、ワクチン接種歴；1歳時に1回有り）
追加報告	結核 2名 （芦屋保健所管内 1名、宝塚保健所管内 1名）、 後天性免疫不全症候群 2名 （AIDS）（感染地域；国内 1名、不明 1名）（感染経路；同性間性的接触 1名、不明 1名）

動物の感染症

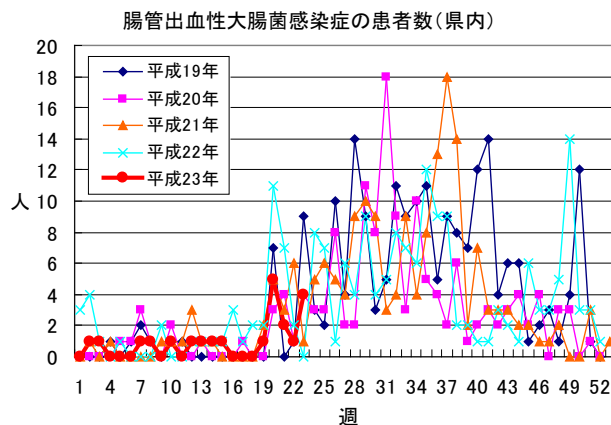
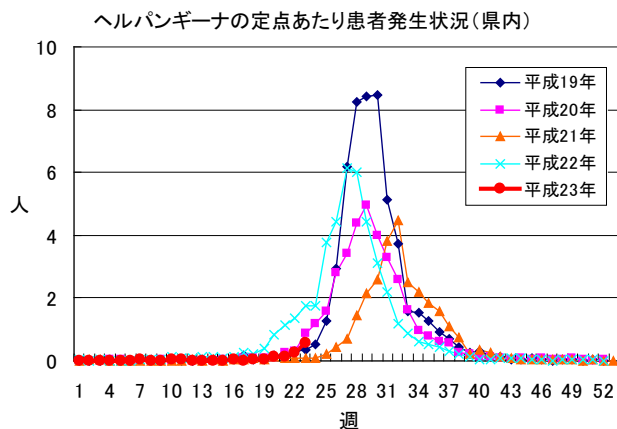
鳥インフルエンザ（H5N1）の鳥類 1羽（動物（死体）の所在地 不明；動物の種類 カンムリカイツブリ）

目で見える動向（県内）



例年同時期と比較して患者数が多い。

流行はほぼ終息しました。



この週報は兵庫県立健康科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。